

<全国納税貯蓄組合連合会長賞>

## 納税と社会保障

福島市立平野中学校

3年 関口 好<sup>せきぐち このみ</sup>

日本の消費税を8パーセントに、将来的には10パーセントにまで引き上げるというニュースが以前取りあげられていた。その時、まだ税の知識がなかった私は「無駄なお金をなくせば、引き上げる必要はないのではないか。」そう思った。

そこで諸外国の消費税をはじめとする税について調べてみた。アジア各国の消費税は5パーセントから多くても中国の17パーセントだったのに対し、ヨーロッパでは大半が20パーセント前後。25パーセントに達している国もある。また、日本が約25パーセントの租税負担率も、スウェーデンでは約50パーセントと2倍である。

なぜヨーロッパの国々は租税負担率が高いのか。そしてそのお金は何のために使われているのか。

その理由のひとつに社会保障が充実しているということが考えられる。例えば、スウェーデンの福祉政策として、共働きの親のために子どもを預けられる家庭デイホームなどの充実や、17歳までの子どもに国から補助金が給付されるといった少子化対策がされている。また、少子化対策の他にも、無料で高齢者が介護を受けられる、高齢化対策も行われているのだ。

1年前に亡くなった祖父は認知症の症状が出ていて、外出の機会も減り、あまり話をしなくなってしまった。それが週に2日デイサービスに通うようになると笑顔でデイサービスのことを話してくれるようになった。祖母も、祖父の介護で1日が終わってしまうような日々を送っていたが、時間にも心にも余裕ができたようだった。しかし、その

裏に金銭面で問題を抱えていたのだったら、それは本当の幸福ではないと思う。税は、この社会の礎を築いてくれたお年寄りのために、そして、未来の日本を創っていく小さな命のために使われるべきである。

「引き上げる必要はない。」そう思うのは、私達が納めた税金が何に使われているのかがはっきりと分からないからではないだろうか。たとえ税を大幅に引き上げたとしても、それによって生活がより豊かになっていると感じられれば、きっと納得してくれるはずだ。

国民一人ひとりが納めた税金。それは、この国をもっと輝く国にしたい、といった人々の希望が込められたものだと思う。だからこそ、国民に見えるように、生活に還元されるように大切に使ってほしい。

今日の笑顔のために。そして輝く未来のために。